

日本財団預納付金助成事業として、「デート DV 予防教育普及および自立に向けた基盤づくり事業」を行いました。

(1) 予防教育の目的と効果についての検討会

当団体の目的は、デート DV のない社会の実現のためにデート DV 予防教育を普及することにあります。全国には多種多様なプログラムや手法が存在していますが、今年度は、デート DV 予防教育の効果を定義づけし、効果測定の方法を確立するために、5 回の検討会を開催し、また予備調査とヒアリングを行いました。

6 月 9 日 赤澤淳子氏（福山大学）および松並知子氏（同志社大学）を招き、「アクティブラーニングを導入したデート DV 予防・介入教育プログラムの開発と効果検証」と題し、日本の心理学分野での先行研究について学び、意見交換した。（参加 34 名）

7 月 31 日、理事たちが全国から集まり、ガールスカウト会館で「デート DV 予防教育」について検討会を開きました。

午前中は、それぞれが実際に行なっている予防プログラムを見せ合い、違いとそれぞれの良さを認識することができました。

午後は NPO ピーチハウスの志堅原郁子さんを講師に迎え、学習会。

その後行われたディスカッションでは、「デート DV のない社会とは」そして「受講後に期待される子どもの変化とは」をテーマに様々な意見が活発に出されました。

<予備調査実施報告>デート DV 予防教育を受講した高校生 750 人が回答

生徒向け予防教育の事前・事後調査

実施団体	実施日	対象	回答人数
長崎県	11 月 15 日	高校 1～3 年生	116 人
大阪府	11 月 28 日	高校 3 年生	244 人
神奈川県	12 月 18 日	高校 2 年生	163 人
兵庫県	12 月 20 日	高校 1 年生	227 人

調査結果を群馬大学の協力をいただき、自然言語解析（NLP）を実施したところ、事前・事

後の比較では「デート DV」についての理解が深まったことが伺えました。

(2) 予防教育実施状況調査の実施

全国のデート DV 予防教育の実施状況を調査。79 団体から回答をいただき、2018 年度 1 年間に回答した 79 団体が実施したデート DV 予防教育は 1265 回。185,731 人の児童・生徒・学生が受講しました。

内訳のグラフ（報告書 5 ページ最上）を貼ってはどうか？

(3) デート DV 防止スプリング・フォーラム 2020

「イヤよイヤよはイヤなんです！」をキャッチコピーに準備を進めていたスプリング・フォーラムは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための政府の要請を受け中止となりましたが、参加申込者に当日資料と特製トートバッグをお送りしました。

チャリツモ取材記事も？

私が“性的同意”を訴える理由／大学生に聞いてみた。“性的同意”のこと。

【第 1 回／全 3 回】

(4) 啓発活動

8月31日・9月1日 ユースプロジェクト夏合宿

全国から集まったユースが、デート DV の啓発動画（tiktok2 本）を作成しました。

Notalone アクセス数

ご活用ください。全国マップ、イベントカレンダー